長洲町教育委員会 会議録

会議録	令和2年 第13回 長洲町教育委員会会議		
招集年月日	令和2年1月28日(火) 午後2時30分 招集		
招集場所	長洲町役場 3階 中会議室		
出席者	委員会	教育長 戸越政幸、坂本裕文教育長職務代理者、 上野美登委員、隈部壽明委員、徳田美津子委員	
	事務局	学校教育課	課長 松林智之
欠席者	なし		
職務説明責任者	松林 学校教育課長		
会議録作成者	松林 学校教育課長を指名		

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	報告第 26号	1月校長会について (学校教育課)
第 4	報告第 27号	生徒指導について (学校教育課)

開会（午後 2 時 30 分）

○学校教育課長（松林智之）

ただ今から令和元年度第 13 回 教育委員会会議を開催いたします。

地方教育行政法第 13 条第 1 項の規定に基づき、教育長に会議の議事進行をお願いいたします。

○教育長（戸越政幸）

本日は、出席委員が定数に達しておりますので、この会議が成立することを報告します。それでは、令和元年度第 13 回教育委員会会議を開会します。

あらかじめ、お諮りします会議の議題は本日配布の通りでよろしいでしょうか。

それでは、日程番号第 1、議事日程について、本日 1 日間とします。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

日程番号第 2、会議録署名委員の指名について、坂本委員長職務代理者を指名します。

（異議なしの声あり）

日程番号第 4、報告第 27 号の生徒指導については個人情報が含まれますので非公開として取り扱います。

日程番号第 3、報告第 26 号について事務局から説明をお願いします。

（報告第 26 号 学校教育課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

何かご質問、ご意見ございましたら出していただけますか。

○教育委員（隈部壽明）

町づくり課のイベントは何ですか。

○学校教育課長（松林智之）

めだか展示会（金魚の館にて）お雛様祭り。期間は 2 月 2 日（日）まで。金魚と鯉の郷にて、第五回目になります。3 月 3 日（日）10 時から 15 時まで。子供たちにも来てくださいということでした。

○教育委員（隈部壽明）

県教育長の英語教育日本一というのは何の意味があるのか。

○教育委員（徳田美津子）

この前の県庁のお話でもありましたよね。初めて聞いたので疑問に思った。

○学校教育課長（松林智之）

目標数値は何もない。英検取得日本一とか具体的にあるかと、そうではないです。

日本一という目標に向かって英語をもう少し活用する機会を増やそうという感じのようです。

○教育委員（隈部壽明）

熊本県を観光都市にしていこう、とかいう話ならわかるのだが…。長洲中の修学旅行の

スマホ持参の共通理解とはどのような理解であるのか

○学校教育課長（松林智之）

事案が複雑ですが、修学旅行時にスマホを持参した男子生徒が複数いて、観光地を撮影し、ブログ等にアップして3年生徒が発見し先生に伝え、その場で指導もしたが保護者のお迎え時にも長時間熱心に指導し、保護者よりその指導が適切であったのかというお尋ねがあったり、学校に戻ってからも調査をされた。

その調査が生徒同士の陰口の原因にもなっている。保護者よりそこまでする必要があるのかという学校に対しての疑問にもなっている。不信感にもなっている。ルールでは持ってきてはいけないものであるのできちんと先生方も指導をしている、毅然と保護者に伝えている。そのなかでも一部の保護者は指導の仕方、生徒との関わり方などでちぐはぐがありざわついた。保護者会を開き学校の想いと保護者の想いを共有する場を持った。

その場で先生も熱くなり強い言葉になる場面もあったが、そこは学校も反省をしたが、禁止を容認していたということについては保護者も見落としていたところもあったので共通理解をしましょうというところで保護者会を開いた。

○教育委員（隈部壽明）

その共通理解が今後の上手い活用にならないと意味がないと思うのだが。

○学校教育課長（松林智之）

保護者にはきちんとした理解がほかの機関に報告する前に、学校の現場で解決できるような場で保てるようにとされている。

○教育委員（隈部壽明）

来年度に向けての徹底した手順等はあるのか。

間違えた理解はよくあると思うが、それが来年度以降に生かされているのか。

○学校教育課長（松林 智之）

生かされることを期待しています

○教育委員（隈部壽明）

共通理解を深めました、終わり。となりがちなのでそのようなことがないように、明文化するや全校生徒や保護者に対しきちんと説明する機会を設けますというふうになっていますか。

○学校教育課長（松林智之）

なっていると思います。

○教育委員（上野美登）

中学校はもう総会などありませんか。

○学校教育課長（松林智之）

ないと思う。

○教育委員（上野美登）

今回の保護者総会をして、いい方向に向かったのかわだかまりが残ったのかで来年度の3

年生になる保護者に対してどうなるか。

○教育長（戸越政幸）

学年集会がある 2 年生の保護者会。

○教育委員（隈部壽明）

きている保護者は全員ではない。

○教育長（戸越政幸）

全員ではない。

○教育委員（隈部壽明）

不徹底になるので全員に全保護者に徹底してそういう動きをしないといけない。

○教育長（戸越政幸）

日頃の P T A 総会にも保護者は出席しないので難しい。別の段階で考えるべき。今回は年の瀬でもあった、また県にまで連絡がいつている、そこからきているのできちんと、どのような状況でこうなったか説明をすべきであろう。まずは 2 年生の学年委員さんに相談をされて 2 年生の保護者に連絡をとられ、全員参加でと学校は臨まれたのだが結果的に 20 数名であった。そこはとても残念である。せっかくのチャンスであったのにそこが今後の課題でもある。

参加者を増やしお互いに共通理解をする場をつくっていくか、学校も努力をし保護者もその努力は必要である。

○教育委員（上野美登）

問題意識が薄いのか、「持ってこなければいいんでしょう。」が半分以上で怒りをもった人が少数。うちの子は大丈夫という気持ちが強い。

○教育長（戸越政幸）

その辺の意識を学校はもっと努力が必要であり保護者も高めていく気持をどう作っていくか。

○教育委員（上野美登）

中学入学したころの生徒指導は言葉も保護者に対しても規律があり、宿泊研修にも問題行動があればすぐに迎えに来てもらうなどはっきり言われた。不用品は持ち込まないなど保護者の印鑑を押して提出させられた。ことなどあったが学校によって違うのか…。

決意書のようなものもあったが…。

○教育長（戸越政幸）

普通はそこまではやらないですね

荒れた学校では必要であれば事前にお知らせをすることもあるが。

○教育委員（上野美登）

きちんと引継ぎをしてはっきり言ってもらったほうが伝わる。

○教育長（戸越政幸）

あくまでも荒れた学校の場合です

通常な学校ではそこまではやらなくてもいいような学校経営を必要。

○教育委員（隈部壽明）

もしくは生徒にどのような生活をするよいか生徒たちに考えさせていくのがベスト。

○教育長（戸越政幸）

自治能力、日常の生活も行事もそうあるべきです。

○教育委員（隈部壽明）

きちんとした生徒は考えきれる。

○教育委員（徳田美津子）

持って行った生徒の保護者は知らなかったのか、それとも容認していたのか。

○学校教育課長（松林 智之）

女子生徒は親とやり取りをしていた、知っていた

○教育長職務代理人（坂本裕文）

今は親が悪い、どうしようもない

○教育長（戸越政幸）

どうしようもないが学校はそうゆうところに本来力を入れるべきである。本来やらなくてはいけないことはやれず別のことにエネルギーを使っている。意識をどう変えていくか、学校現場は大変だと思う。

○教育委員（隈部壽明）

保護者も学校にいつでも行ける相談しやすい関係を作っていかないと。

○学校教育課長（松林智之）

先生の性格も色々あるし雰囲気もある。

○教育委員（上野美登）

腹赤小は誰も受験生はいません。全員腹栄中を希望している。昨年は15名くらい受験した、昨年は多かった。

○教育委員（徳田美津子）

嬉しいことですね。

○教育長（戸越政幸）

今回の腹赤小全員腹栄中はとてもいいと思う。

○教育委員（上野美登）

地域に密着してくれているという保護者の理解もある、中学校の雰囲気もいい。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

中学校の努力もあるわけですね。

○教育委員（徳田 美津子）

キャリアパスポートとは何か。

○学校教育課長（松林智之）

小学6年と中学3年で自然体験学習や環境学習や授業外の総合学習で体験活動を9年間

で重複しないように習得したことをファイルに綴っている。先生方が組み立てやすいように学年を持ち越し、学年を移動し綴っていくもの。文科省からの提案。総合学習は決まっている内容ではないので。各自治体によって特性を学年に応じた組み立てをしていく。

○教育委員（上野美登）

学校と町の行政をリンクさせて活動できるのか。

○教育委員（隈部壽明）

高校受験で内申書をなくして生徒が書いたものを試験の材料に評価の材料にする。主体的に活動した内容を評価する、活用するため。

○学校教育課長（松林智之）

新学習指導要領の特別活動のようです。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

特別活動だったら小中連携でカリキュラムを組むから。

○教育長（戸越 政幸）

1年ではこう2年ではこうと流れをくむ。長洲町の文化財を学ぶために1年ではこうしていこう…2年3年と。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

学校の教育課程のなかで学んだことを蓄積していくというパスポートなんですか。

○教育委員（隈部壽明）

自分がどうゆう思いを持って取り組んで結果として実になったかを書く。

○教育委員（上野美登）

みんな同じ内容ですよ。

○教育長（戸越政幸）

見通しを持たせて長洲町の文化に触れようや自然体験、産業体験が一つの流れである

○教育委員（上野美登）

その方が深まりますね。自分の学びになる。

○教育委員（徳田美津子）

時数。年に一回ですか。

○学校教育課長（松林智之）

決まってはいない。

○教育委員（隈部壽明）

カリキュラムではなく生徒の主体性をどう自ら考えていくことのため。

○学校教育課長（松林智之）

特別活動を要として生徒が認識できるように工夫する、高校卒業まで使う。大学受験までつかう。子どもたちの成長を促したり自己評価を高めたり…。

○教育委員（上野美登）

中学3年くらいになれば自分でプログラミングしたりできますよね。内容がよくわから

ない。

○教育委員（隈部壽明）

やることは学校で決められているので、それに参加してこのようなことを自分考えました、身になりましたということを書けるようになればいい。

○教育委員（上野 美登）

今年のようにハンドボールの大会などあればいいですね。一国を応援するために色々調べたりしていました。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

文化財のゴールでいえば小 6 になればガイドができるとか中 3 ではプレゼンができるなどの目指すゴールにしておくといい。

○教育委員（上野 美登）

一つずつだとなかなか一年で終わらない気がする。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

ボランティアをしたら自分なりにしたことを挟む。学校活動以外でも自己の成長を記録していくというものである。

○学校教育課長（松林智之）

想定では一人年間 5 枚ぐらいになるかなというところです。小学校 30 枚。

中学校あわせて 50 枚はいるファイルです。教育委員会で準備するなどという話になっている。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

ファイルの様式はある程度示してあるのか。

○学校教育課長（松林 智之）

文科省が例示してある。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

総合学習でも出てきたけれども、結局はしていない。積み上がらない、どこかで挫折している。なかなか根気がいる。どこにファイルがあるかわからなくなっている。高校までとなると意識がかわってくるだろう。

○教育委員（隈部壽明）

それをシステム化するまで、入力すると高校までつなげる。

○教育委員（上野美登）

紙媒体ではないということ。

○教育委員（隈部壽明）

どうするか。システムもありうる。

○教育委員（上野美登）

システム化にまとめた方ができる町という感じはする。

○学校教育課長（松林智之）

そうなると一人一台タブレットを与えないと、デジタル教科書になりますね。

○教育長（戸越 政幸）

他に何かないようでしたらこの件は終わります。

次に日程番号第 4、報告第 27 号について、事務局から説明をお願いします。

（報告第 27 号 学校教育課長 説明）

－ 報告第 27 号については、個人情報の保護の観点から非公開 －

○教育長（戸越 政幸）

その他ございませんでしょうか。

それではこれもちまして本日の全日程を終了いたします。

第 13 回教育委員会議を終了いたします。お疲れ様でした。

閉会（午後 3 時 50 分）